



観明寺日本堂欄間彫刻「波に阿形龍図」（島村圓鉄）

観明寺は一宮町にある天台宗の名刹で、田丸健良著『房総志料続篇』（天保3／1832年）に本堂の彫刻は島村圓鉄が手掛けたという趣旨の記述がある。彫刻は現本堂にも一部が転用され、「地獄極楽欄間」と呼ばれて一宮町指定文化財となる。展示の作品は、咆哮するように口を大きくあけて牙と舌を見せ、海中から空中へ躍り出た瞬間を表す。睦沢町指定文化財。